

悲しいまでに美しい旋律とライブならではの力強いステージ。
今年ほどんなステージを魅せてくれるのだろうか！

RICHARD CLAYDERMAN
2018
with Strings Trio

リチャード クレイダーマン 2018 with スtrings・トリオ

2018.5.13 (日) 14:30 開場
15:00 開演

※未就学児のご入場はご遠慮下さい

ぎふ清流文化プラザ 2階 長良川ホール 岐阜市学園町 3-42

〈全席指定〉 ¥7,800

チケットの販売はお1人4枚までとさせていただきます。
車椅子をご利用の方や補助犬をお連れの方は、車椅子席をお求めください。

主催：岐阜県 (公財)岐阜県教育文化財団 後援：JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント 企画制作：ミュージックリーグ

〈チケット販売〉 3月13日(火) 10:00～ 販売開始

- ぎふ清流文化プラザ TEL 058-233-8121
- マーサ21インフォメーション TEL 058-295-2310
- 電子チケットびあ Pコード 110-639



【お問合せ】 (公財)岐阜県教育文化財団 058-233-8164



Premium Selection in Gifu 清流プレミアムセレクション

リチャード クレイダーマン 2018

with ストリングス・トリオ

RICHARD CLAYDERMAN
2018
with Strings Trio

「40」— 2017年のリチャード・クレイダーマンのワールドツアーを彩ったのがこの数字だ。イージーリスニング珠玉の名曲となった代表作「渚のアデリーヌ」がリリースされて40年。コンサート冒頭のナレーションは、レコーディング楽曲数が1,000を超え、全世界での公演数は2,500回以上という、輝かしい記録を紹介していた。

クレイダーマンのデビュー40周年ワールドツアーは、日本や中国、台湾、韓国、シンガポールといったアジア地域のほか、バルト三国、東欧諸国、オーストラリア、中南米、カナダ、アメリカ、イスラエルなど、広く世界を網羅した。

この40という数字、実は日本の関係者およびファンには別の意味もあった。1980年から毎年続いてきたジャパンツアーが40回目を迎えたのだ。1980年から38年連続して来日、時には年に2回ツアーが行われたため、数字がデビュー年数に追いついた。この特別な年を記念して、谷村新司の楽曲「いい日旅立ち」「昴」が日本向けに録音、披露されるという嬉しいプレゼントもあった。

クレイダーマンのツアー回数が日本で群を抜いていることは、ポール・モーリア、レイモン・ルフェーヴルといった先輩たちの成功を見ても不思議ではない。しかし、クレイダーマンの活躍は、元来ムード音楽ファンの多い国々にとどまらず、その点で大御所たちに差をつけてきた。地元ヨーロッパはもとより、南北アメリカ、オーストラリア、中東からアフリカまで、世界のあらゆる地域からツアーの要請が絶えないのが、彼の特徴である。

イージーリスニング=BGM、といった一般的な認識に、穏やかな一石を投じているのがクレイダーマンなのかも知れない。仕事や勉強の妨げにならず、日常に溶け込んでいる彼の音楽は、ホテルやショッピングモール、飲食店やクリニックでもしばしば流れている。こうした「いつでもどこでも聞こえてくるメロディー」を、わざわざホールに出かけて聴きに行く人々がいるのか、そんな疑問を彼は軽く消し去ってしまった。ジャンルを超えた音楽性とピアノ愛に溢れた彼のステージは、単なる心地よい空間ではなく、新たな発見に満ちている。

誰もが音楽をネットで気軽に発信したり入手したりできる時代だからこそ、クレイダーマンは聴衆の前で演奏し、「今」を共有することにこだわり続けている。歳月を経て、客席を埋め尽くすのは「ピアノの貴公子」を見に来た女性たちよりも、「演奏を楽しむミュージシャン」に共感する人々の割合が増えている。

各国で災害や政情不安がつつのる中でも、クレイダーマンが自分の都合でツアー日程を変更したりキャンセルすることは皆無だ。主催者側がゴーサインを出さずすれば、内紛も地震もいとわない。時にはライフルを持った兵士に警護され、時には劣悪な状態のピアノしか用意されないこともあったが、彼は常に平常心を保ち、その瞬間のベストを尽くすだけだ。

2011年、東日本大震災からわずか2ヶ月後の日本に来ることも躊躇せず、翌年ジャパンツアーのオフ日に仙台を訪れてミニコンサートを行ったのも、彼には当然のことだった。2017年の4～5月には、北朝鮮のミサイル発射の緊張感が漂う韓国と日本を予定通り訪れてツアーを全うしている。

12月初めに予定されていたエジプトの首都カイロでの公演は、モスク襲撃テロの影響で最終的に延期が決まったが、本人は事件直後、エジプトのファンに寄り添う動画メッセージを送り、コンサートで会いましょうと語っていた。

日本デビュー40年目の2018年も、5月にジャパンツアーが決定している。安心して音楽を楽しめる平和な環境。クレイダーマンとの再会の意味は、そこにある。

倫永 亮

視覚や肢体に障がいがありながらも、プロのピアニストとして活躍する桑原良恵。彼女が岐阜県を代表して、皇太子殿下をお迎えするための演奏で選んだ奉迎曲は「♪渚のアデリーヌ」。この曲は、ピアニスト桑原良恵にとって、とても大切な曲となっています。



桑原良恵(くわはらよしえ)

4歳のときに失明、その他にも骨の病気による四肢の湾曲や程度の難聴など、様々な個性をもって生まれるも7歳から始めたピアノとともに生き生きと人生を楽しんでいる。鍵盤に指が届かず多くの曲を弾くことは難しいが、点字の楽譜を繰り返し暗譜し練習することで自分にしか出せない音を探求し多くの観客を魅了する。

お問い合わせ

(公財)岐阜県教育文化財団 プラザ事業課
岐阜市学園町 3-42 ぎふ清流文化プラザ 1階 〒502-0841
TEL.058-233-8164 FAX.058-233-5811
http://www.g-kyoubun.or.jp/
☒ geof@g-kyoubun.or.jp
受付時間:平日9:00~17:15

【駐車場のご案内】

ぎふ清流文化プラザ駐車場(136台)
駐車料金/3時間まで100円それ以降30分ごとに100円
駐車場には限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。
-障害者手帳をお持ちの方は、駐車料金の減免があります。

【公共交通機関のご案内】岐阜バス

JR岐阜駅10番のりばまたは名鉄岐阜(バスターミナル)0のりば
[三田河原]市民会館 / 長良川国府宮跡方面行き
[K49植田寺田地] / [K50長良川代公園前] / [K55廣野西5丁目]
にて約20分バス券「メモリアル正門前」下車 徒歩1分。

